

富山県、富山県医薬品工業協会ジェネリック委員会 ジェネリック医薬品研修会について

開催日時：2022年12月3日（土）14:00～15:30

場 所：WEB形式

講 師：田中 俊幸 氏（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会委員長）

概 要：当該研修会において、日本ジェネリック製薬協会広報委員会委員長の田中俊幸氏より「『ジェネリック医薬品に対する信頼の回復』に向けた日本ジェネリック製薬協会の取組み」について説明しました。

参加者の皆様の「ご質問・ご意見」を以下にご紹介させていただきます。

- 演題予定の「信頼回復」以前に安定供給がされていなかったり、急に販売中止したりといったことに対する説明をしてほしい。この最低限のことが出来てから信頼回復の取組みの説明になると思う。
- ジェネリック医薬品がかなり普及してきた。品質を保つ意味でも最低価格を決めて業者を守ること必要では？そろそろ医療費を抑える方法は別の観点に切替える時では？
- ステロイドなどの外用剤だが、原料の高騰で販売が次々に中止になっている。包装単位も大きなものしか無くなってきているが、今後も続くのか？
- いつ頃、安定供給されるようになるのか予測がつかなら教えてほしい。
- ジェネリック医薬品の出荷調整により、先発医薬品を使わざるを得ない状況になっている。この混乱はいつ頃まで続くのか？
- ジェネリック医薬品の流通について、まだ不安定と言わざるを得ない状況だと思う。今後の見通しについて、教えてほしい。
- 毎年薬価改定で薬の値段が安くなりジェネリック医薬品メーカーの利益も下がることが予測される。採算が取りにくい環境で品質の向上を求められているが、品質よりも供給や利益を優先してしまう事態への対応を伺いたい。